

第88回コンクール課題 (テーマ=読書)

幼年 (えんぴつ)

な	も	し	こ
か	り	ち	び
	の	に	と
		ん	

小三年 (えんぴつ)

う	ゆ	歩	一	ゴ
さ	だ	いた	生	ール
ぎ	ん	た	けん	まで
に	し	カ	命	
勝	て	メ		
った	いた	さん		
よ				

小一年 (えんぴつ)

か	じ	よ	え
あ	ょ	む	本
さん	う	のが	を
	ず		
	ね		

小四年 (ペン)

人	願	ピ	お	勇
間	い	ノ	父	気
に	が	キ	さん	を
り	か	オ	を	出
ま	な	は	救	し
し	い		った	て
た				

小二年 (えんぴつ)

お	王	シ	心	は
ど	子	ン	の	た
り	さ	デ	やさ	ら
ま	ま	レ	しい	き
す	と	ラ		も
				の
				で

小五年 (ペン)

楽	こ	考	主	い	
し	れ	え	人	つ	
さ	こ	行	公	の	
で	そ	動	と	間	
す	読	し	い	に	
	書	て	っ	か	
	の	い	し		
		る	ょ		

小六年 (ペン)

学	ビ	「	人	貴
校	ク	あ	を	さ
の	ト	あ	信	を
図	ル	無	じ	感
書	リ	情	る	じ
室	ユ	」	こ	た
で	ゴ	を	の	
	ー	読		
	の	み		

中一年 楷書 (ペン)

感	王	最	貧	自
動	子	後	しい	分
の	と	ま	人	を
涙	つ	で	の	犧
が	ば	つ	た	牲
あ	め	く	に	に
ふ	の	し		し
れ	物	た		て
た	語			

中二・三年 行書 (ペン)

感	王	最	貧	自
動	子	後	しい	分
の	と	ま	人	を
涙	つ	で	の	犧
が	ば	つ	た	牲
あ	め	く	に	に
ふ	の	し		し
れ	物	た		て
た	語			

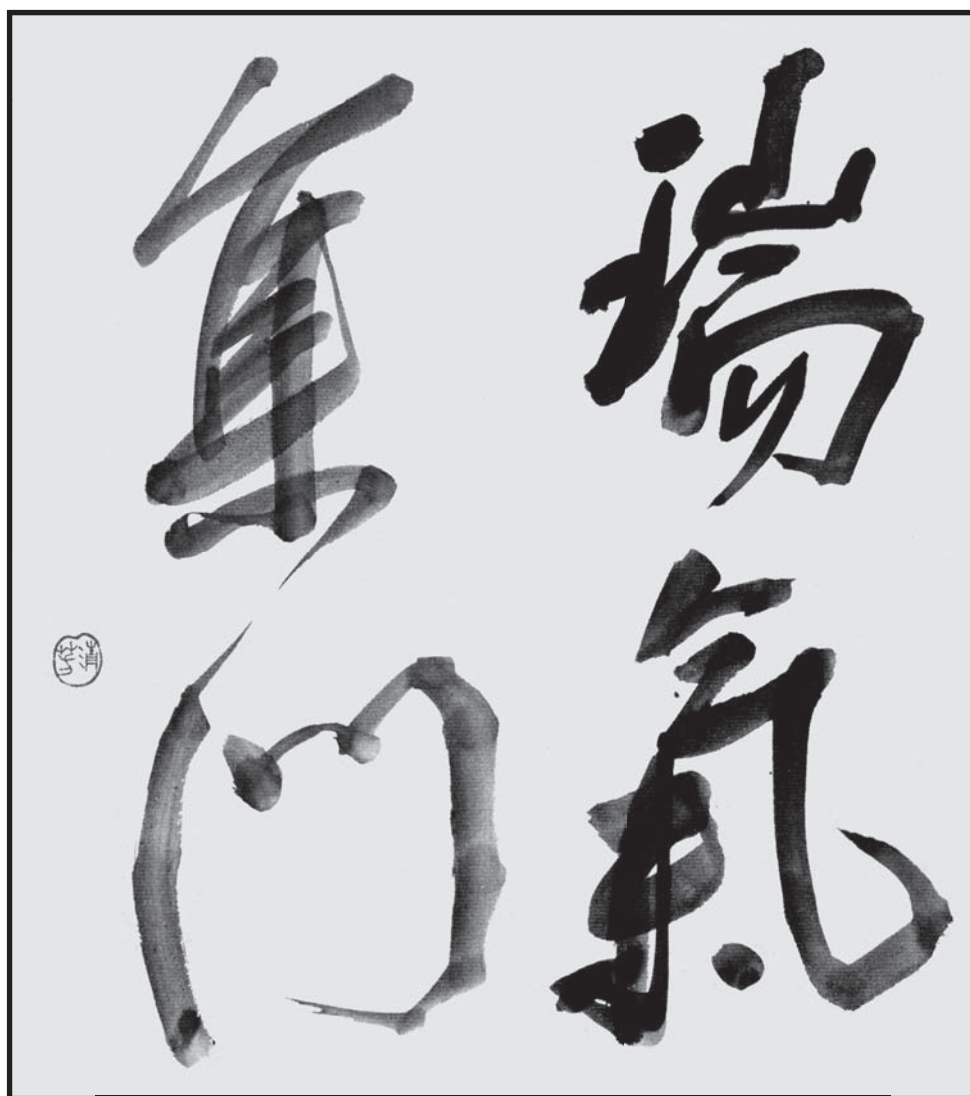
※「ペン」は、つけペン、デスクペン、ボールペンのいずれかを使用。

※幼年から小三までは上一段あけて書いて下さい。句読点は省略します。

色紙を書く（7）

締切り 七月二十五日（必着）

奥村 憲 照 先生 書



〔読み〕 瑞氣集門

〔大意〕 めでたい気が、その人の家が集まってくること。

◎暮らしの中で一番身近で、親しみのある「書」といえば『色紙』ではないでしょうか。
◎家の玄関や応接間、お店や事務所など、至る所で様々な色紙を見かけます。

◎お祝いや記念にプレゼントしたり、揮毫を求められたりする機会も少なくありませんが、いざとなると、中々うまく書けないものです。

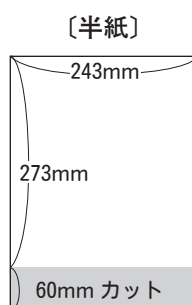
◎創立六十周年の今年は、奥村憲照先生の色紙作品を鑑賞するとともに、色紙の書き方を学びます。

◎色紙は特に、執筆者の個性が重んじられます。あまり手本にこだわらず、自己表現するつもりで自由に楽しんで書きましょう。

□作品の出し方

▼毛筆部Ⅱ左図のように半紙を六〇mmカットして書いて下さい。これが一般的に使用される大色紙のサイズ（二七三mm×二四三mm）になります。

※本物の厚紙の色紙はかさばるため、使用しないで下さい。（色紙練習用の薄手のものは可）



▼硬筆部Ⅱ右の大色紙を四分の一にすると、寸松庵色紙のサイズ（一三六mm×一一一mm）になります。

このサイズの紙を作るか、B5判の用紙に枠を引いてお書き下さい。用具は自由ですが、太目の筆記具（フェルトペン・マッチ棒・割り箸等）がよいと思います。

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

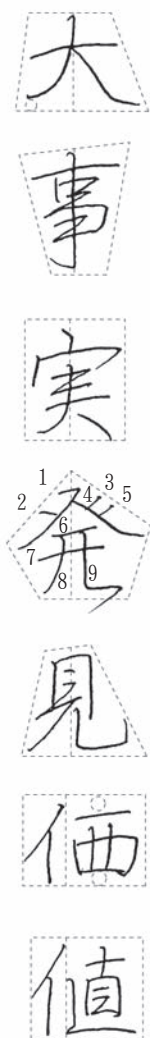
▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績（硬筆の場合は硬筆規定の成績）を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



◎今月は行書。生氣ある行書を書くには、運ペン、速度、緩急の度を学ぶことが大切。重なる文字は少し変化させて書いてみました。

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。



おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★才能が…（書体Ⅱ楷書）

大蔵虎明（一九五七～二〇一六）

江戸初期の狂言役者

イソップのウサギとカメの寓話に代表されるように、才能に恵まれた人は、うぬぼれと過信による油断がありますが、さして才能のない人は不断の努力を続け、ついには才能のあるものを凌駕することもあるでしょう。絶え間ない努力こそが力となるのです。

◆8月課題予告（行書）

遠慮なければ

必ず近憂あり

論語

★大事…（書体Ⅱ行書）

野依良治（一九二六～）化学者

ノーベル化学賞受賞

研究の場に限らず、人は毎日たくさんの事実遭遇しますが、そのほとんどすべてをやり過ごしてしまいます。どうすればその事実の中の価値を見抜く力をつけられるでしょう。若い頃に、いかに広い教養・知的基盤を築いているかだと、教授は指摘しています。

◆8月課題予告（行草または草書）

君子は

終身の憂いあるも

一朝の思いなきなり

▼教範・書範Ⅱ行書

▼師範Ⅱ楷書

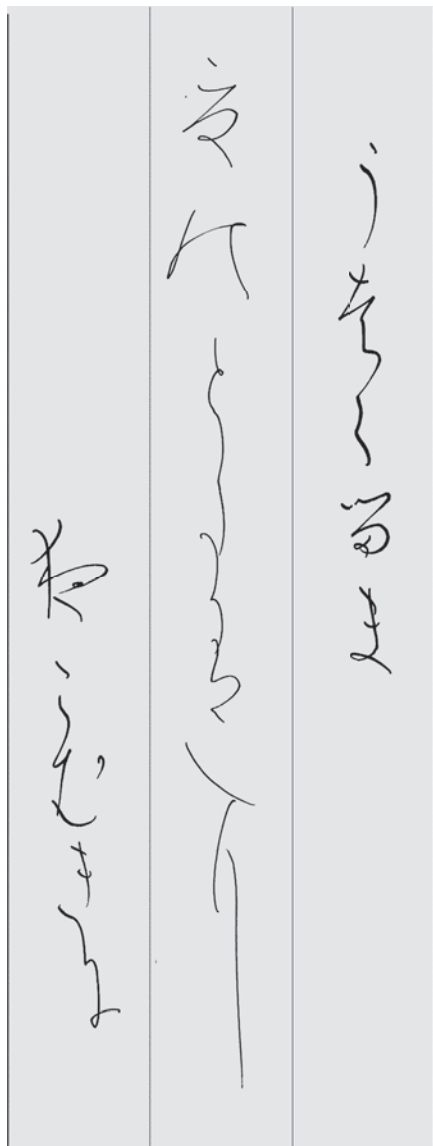
一般部かな課題

締切り 7月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

乳母車夏の怒濤によこむきに



乳母車夏の怒濤によこむきに

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

	う	
	く	
	ま	の
う	ず	ま
き	に	き
す	ま	
き		
に		

おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

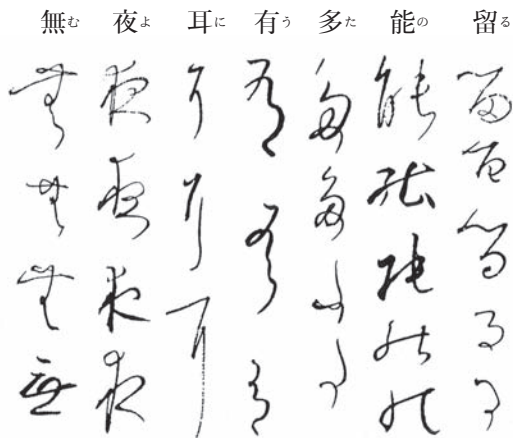
おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆8月課題予告
金剛の露ひとつばや石の上へ

(川端茅舎)



〔古筆参考〕

乳母車夏の怒濤によこむきに
〔句意〕真夏の太陽の照りつける海辺の道に、乳母車が見られる。磯伝いの道をやって来たのであろうか。荒磯の怒濤に対して、横向きの形で置かれていることである。

(橋本多佳子)

締切り 7月25日(必着)

自由課題

- ◆ 今月は、文章も自由といたします。
- ◆ 皆さんのアイデアを生かして自由に創作して下さい。
- ◆ バラエティに富んだ、個性豊かな暑中見舞い状をお待ちしています。

暑中お見舞い申し上げます
窓辺のゴーヤは家族の期待にこたえて緑の葉を沢山繁らせ涼しげです。実は、食べるだけでなく観賞にもなります。緑からオレンジ色になりイカリ形に開いてそれは見事です。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

暑中お見舞い申し上げます
窓辺のゴーヤは家族の期待にこたえて緑の葉を沢山繁らせ涼しげです。実は、食べるだけでなく観賞にもなります。緑からオレンジ色になりイカリ形に開いてそれは見事です。

横書き課題

啄木の書いた自然主義的な小説は
当時少しも売れませんでした。

北海道旭川市 氏 名

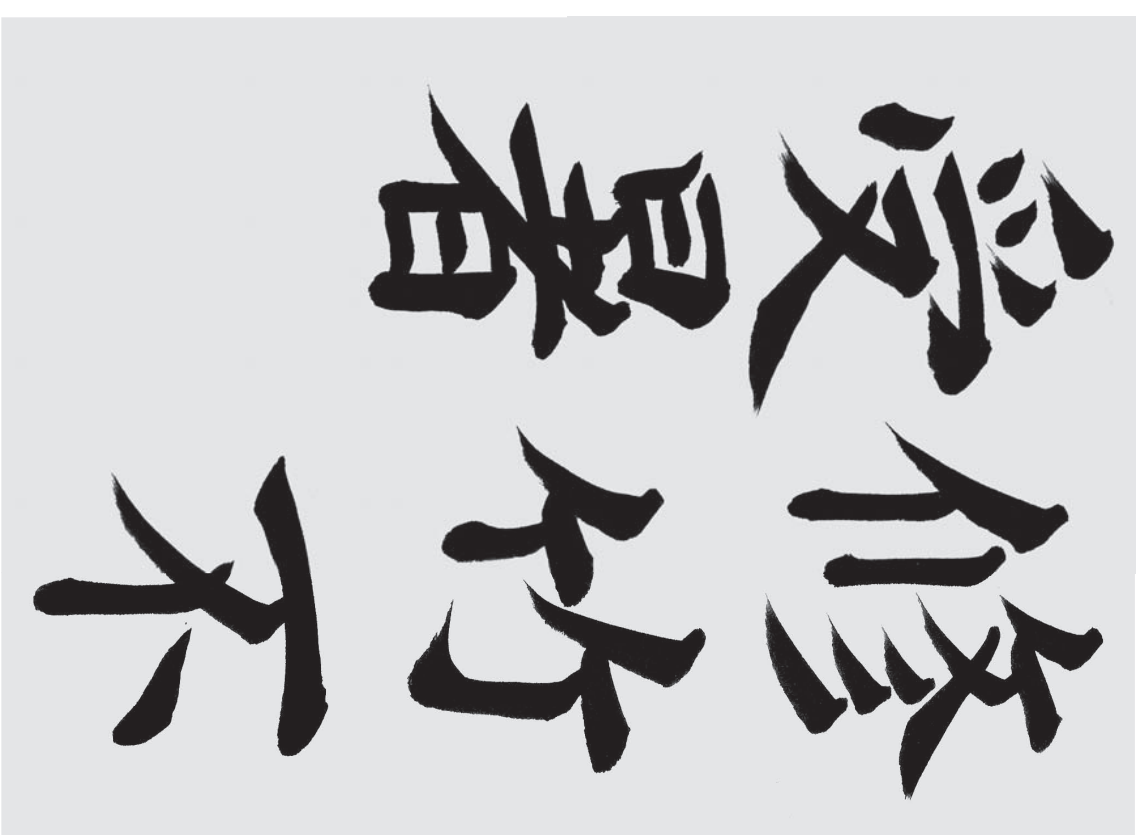
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 7月25日(必着)



〔出典〕孔子廟堂碑（626～633）〔筆者〕虞世南（558～638）
 〔読み〕^{わやう}周道^{いにしえ}自^{より}古よりす。周道再び、



〔読み〕^{しゅうしやく}修竹^を暑^を受^けず
 〔大意〕竹林は自然に涼しい風がある。



周道自古

準初段から師範まで

奥村暢之 臨

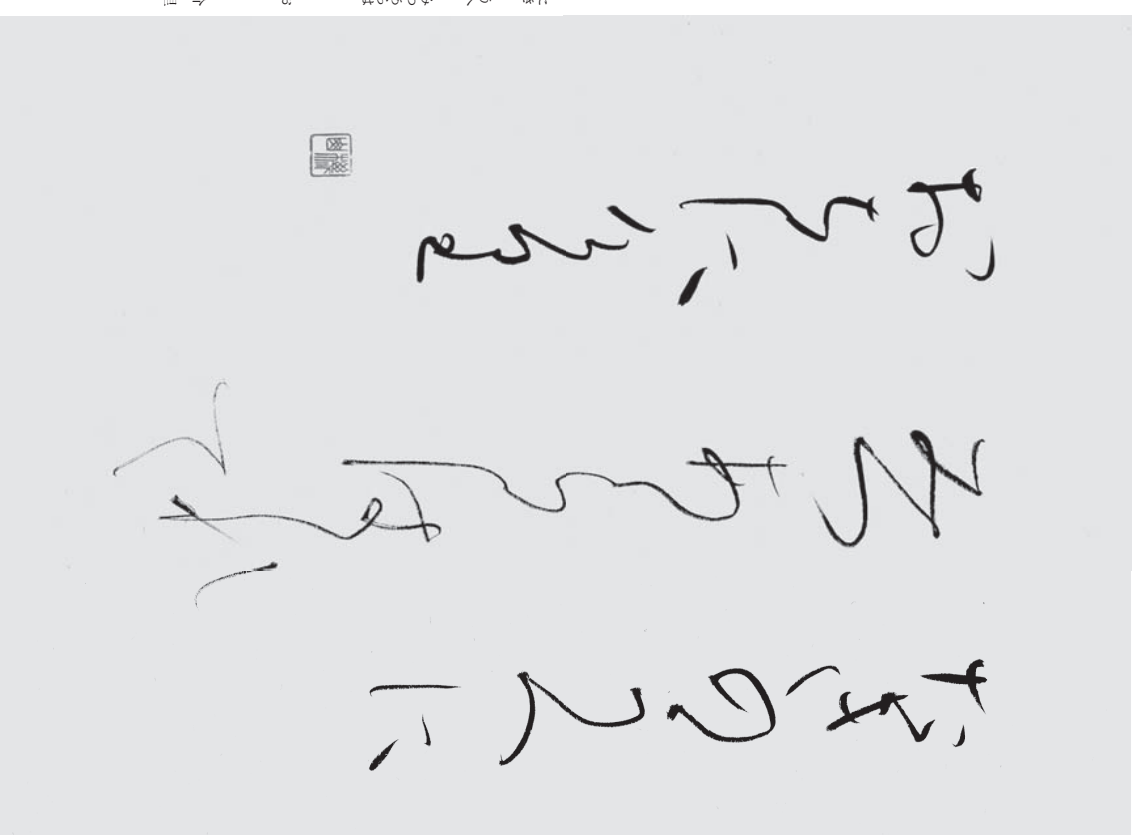
新入から1級まで（楷書）

須田一葉 書

一般部毛筆かな課題

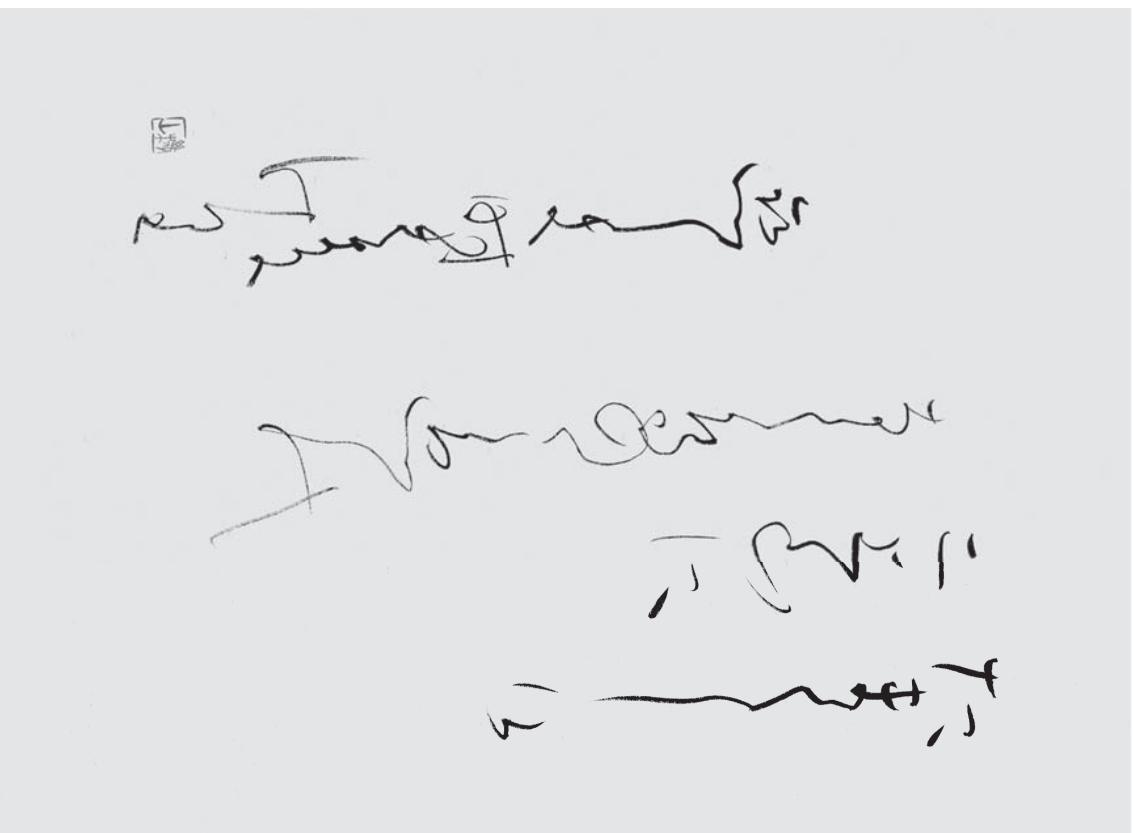
締切り 7月25日(必着)

新入から1級まで



浅井 機山先生書

準初段から師範まで



■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

滝のうへに水現れて落ちにけり

【出典】 後藤夜半

【句意】 滝がすさまじい音をたてて落下している。みていると、滝の上部に水流が現われて、次の瞬間落下する。その連続である。

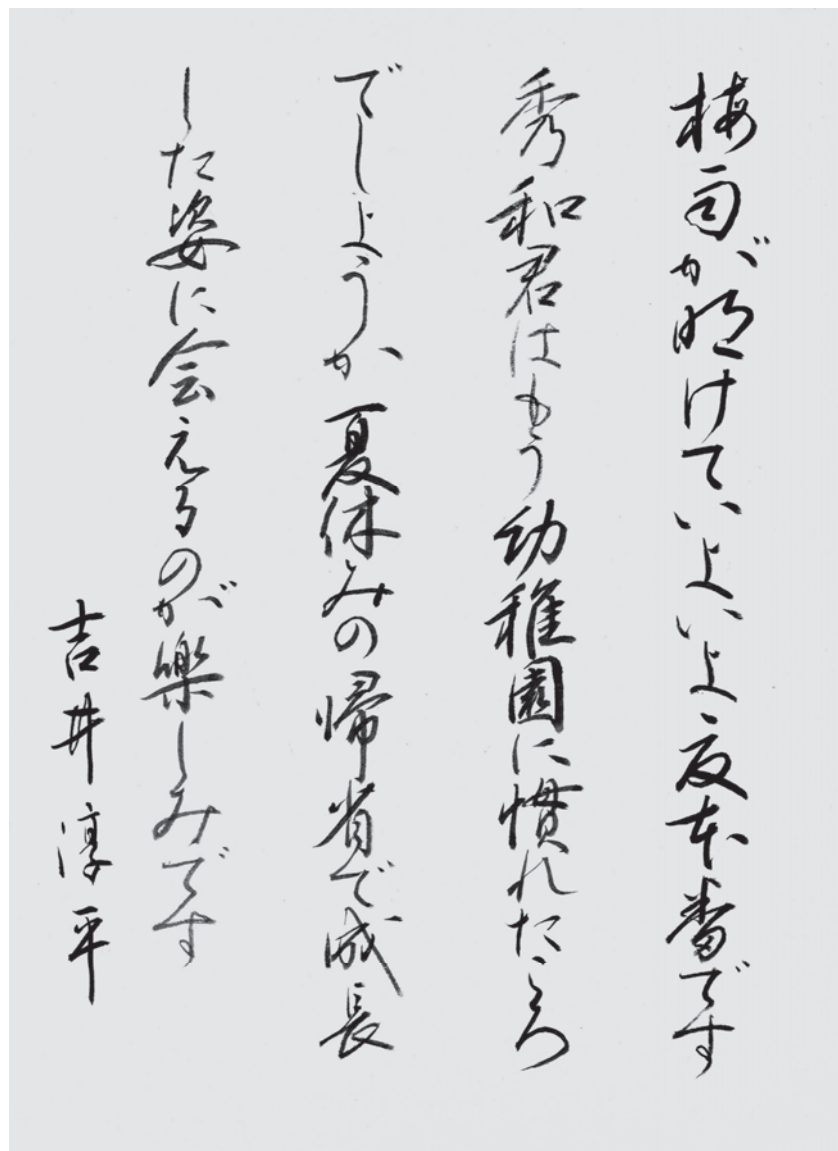
たましくしげしげ 山上に鳴く鳥の
声の恋しき時は来にけり

【出典】 大伴家持

【歌意】 二上山に鳴く鳥（ホトトギス）の声が、恋しく思われる時が来たことだなあ。

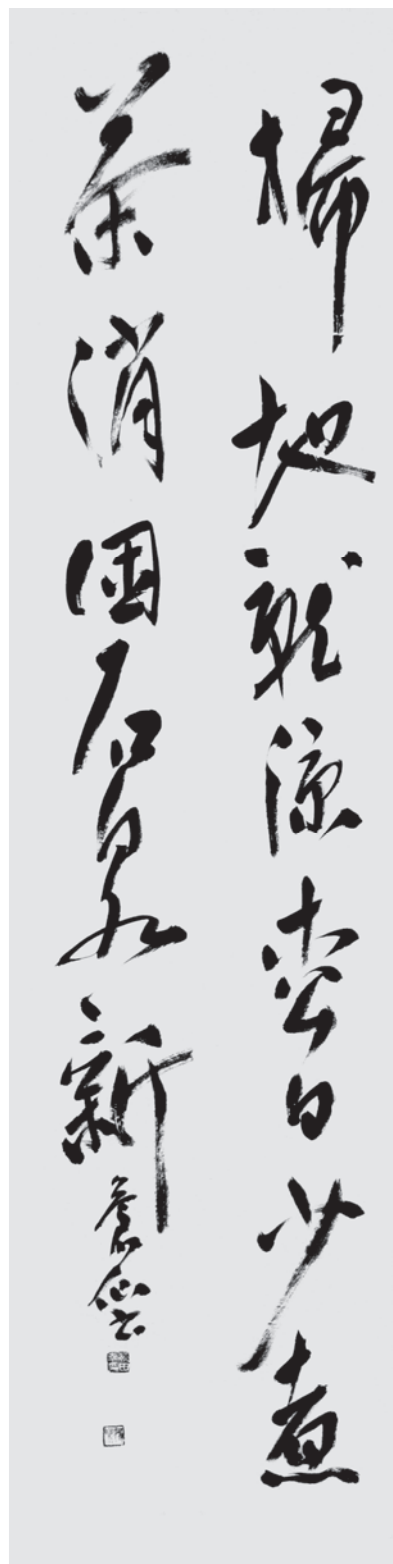
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

梅 田 玲 華 書



締切り 七月二十五日 (必着)

半切 (一二六cm × 三五cm)

荻 田 蒼 仙 書

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績 (天位〜5等) は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅・細字作品の出し方〕

・印で墨つぎしました。

() 自分の氏名

梅雨が明けていよいよ夏本番です
秀和君はもう幼稚園に慣れたところ
でしようか 夏休みの帰省で成長
した姿に会えるのが楽しみです

〔条幅解説〕劉蒼居先生は、日本芸術院賞を受賞された二〇〇六年、六十五歳で他界。先生は「私の書いたものや本を見て書いてもダメ。書きぶりを見ること」とおっしゃった。その言葉が怒濤の如く押し寄せ、私は後悔の念に覆われています。それは、習作を見て頂くのに二時間位待つのは通例だったのですが、その時間に食欲に先生の書きぶりを見なかったからです。「上達には書きぶりを見る」これ鉄則。

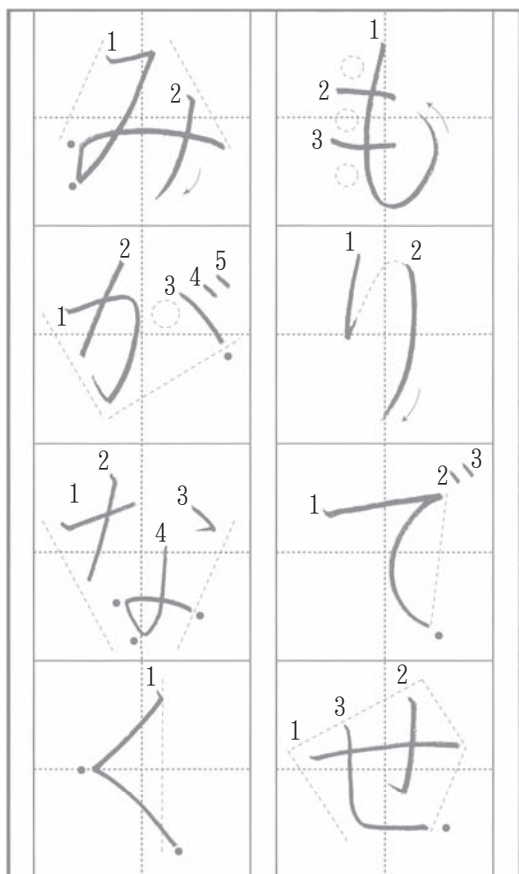
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

初出品の方へ

〔大意〕地上を掃き清めて涼しい所にゆけば松も日影はまれに、茶煎じてたいくつを慰めんとすれば汲む石清水は清新である。

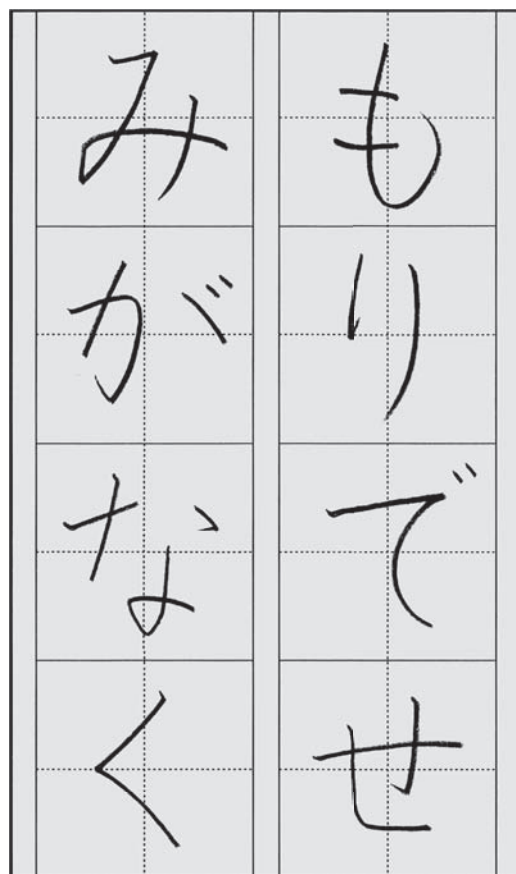
ちをはらいりょうにしようしつすくなく
掃地就涼松日少
煮茶消困石泉新

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



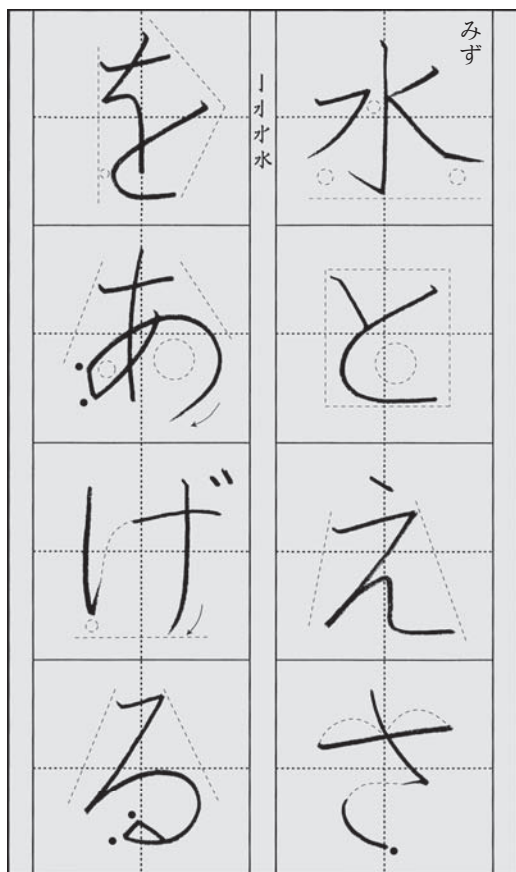
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

を	紙
見	し
る	ば
よ	い

新入1級

い	ち	公
を	と	園
見	紙	で
る	し	友
よ	ば	だ

準初段以上

小二年

準初段以上

の	暗
合	算
計	で
を	数

新入1級

合	算	と
計	で	く
を	人	い
出	数	の
す	の	暗

準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

の	牧
毛	場
が	で
り	羊

新入1級

を	羊	広
見	の	い
学	毛	牧
す	が	場
る	り	で

小四年
準初段以上

小四年以上
岡嶋桂川書

脈	自
続	然
美	豊
景	山

解説(よく見て習いましょう)

※景色Ⅱ単語としてこのように読みます。
小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

美	山	自
し	脈	然
い	が	豊
景	続	か
色	く	な

小五年
(全員)

〈用具〉自由(黒色に限る)

光	飛	と(ぶ)
地	次女	すがた
	見	み(る)
	観	カン

解説(よく見て習いましょう)

れ	ぶ	ホ
る	姿	タ
観	を	ル
光	見	が
地	ら	飛

(全員)

出	対	剣
場	抗	道
し	試	の
ま	合	地
す	に	域

中二・三年 (行書)

な	の	友
お	砂	達
城	で	と
作	大	海
る	き	岸

中一年 (行書)

▼小三年以下の課題

いけ 池 上 紅 苑 書

お	葉	あ	か	雨
さ	は	じ	た	の
ん	っ	さ	つ	庭
ぼ	ぱ	い	む	
し	の	の	り	
て	上		が	
る	を			



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 7月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

さ 佐 とう 藤 ほう 芳 らん 蘭 書

県	自	ク	背	兄
大	己	ロ	泳	は
会	ベ	ー	ぎ	得
に出	ス	ル	と	意
場	ト	で		種
	を			目
	出			の
	し			

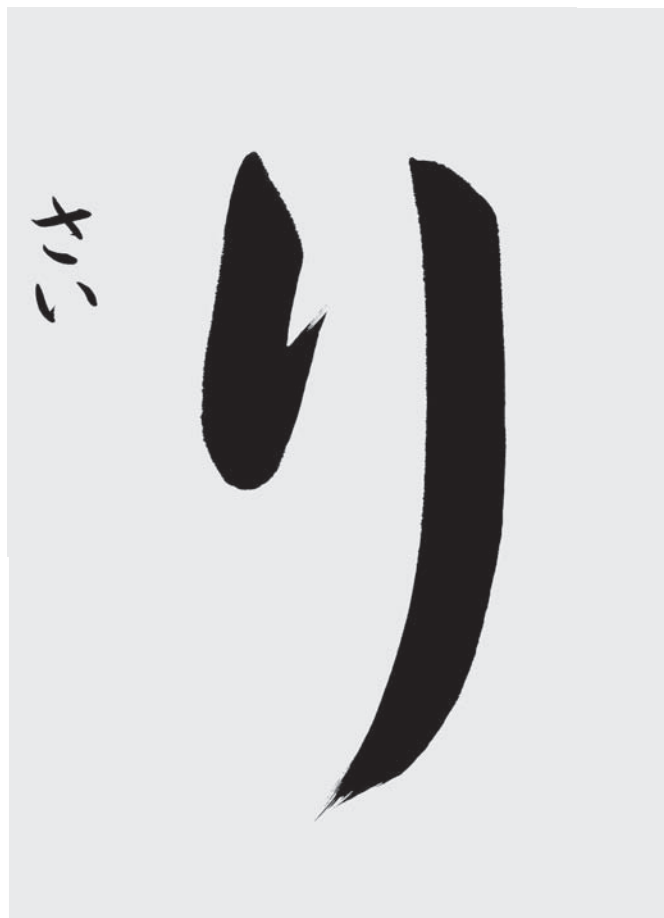


◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年／小二年
玉樹小
華書



小三・小五年

水野香竹書

中二
対抗試合

観光地
小六

砂 観
抗 地
試 海

中一
海岸の砂